



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

2006年4月

April No. 287

Chartered July 20, 1982

主題 YS THEME (2005~2006)

センテニアルクラブ会長：『発想の転換と共に行動の転換を!』
 国際会長：『求めるワイズから 行動するワイズへ』
 アジア会長：『行動するリーダーになろう』
 西日本区理事：『すすぬ 愛と勇気をもって』
 中西部長：『認め合い、共に歩もう、ワイズたび』

クラブ役員 Officers

会長：石津 雅人
 副会長：永島 寧
 書記：山田 孝彦
 会計：三浦 直之
 ネット会長：谷川 有美子
 Y連絡職員：鏡台田 千文

【 Biblical Message of April 】

「全世界に行って、すべての造られたものに福音を述べ伝えなさい」 (マルコ16章14)

【 April Club Meeting 】

『 テーマ：YMCA サービス/ASF 』

4月 第1例会

日時：2006年4月19日(水) 18:30~20:30
 場所：リーガランドホテル 5階
 司会 永島 寧 君

1. 開会点鐘 石津 雅人 会長
2. ワイズソング ー 同
3. ゲスト紹介 石津 雅人 会長
4. 聖句朗読 中村 茂高 君
5. 今月のテーマ 松浦 孝次 君
6. 日々の糧・晚餐 ー 同
7. スピーチ 「 ミャンマースタディツアーの報告 」
 大澤 千恵美さん (大阪YMCA国際コースリーダー)
8. インフォメーション 各担当
9. お誕生日祝い・ニコニコ献金 ー 同
10. 閉会点鐘 石津 雅人 会長

4月 第2例会

日時：2006年4月26日(木) 18:30~20:30
 場所：大阪YMCA土佐堀館4階

*4月例会当番 3班 (藤原、中村茂高、三浦、鏡台田、永島)

*4月お誕生日 隣田メネット13日

工夫することで 個性に磨きを

三浦 直之

少々前の話になりますが、トリノオリンピックの女子フィギュアスケートで、荒川静香選手が金メダルをとりました。極度の緊張感の中で、荒川選手の演技は、大変華麗で、大きな感動を与えてくれました。彼女の得意技のイナバウアーも大変 綺麗でした。

後日 新聞で読んだのですが、彼女は体を反ると綺麗に見えるのではないかと考え、イナバウアーになったそうです。天性の素質に加え、何とか綺麗に見せたいという工夫が金メダルにつながったと思います。

私が申し上げたいのは、工夫することが いかにか大事かということです。マニュアルばやりの昨今で 工夫を試みることで自分らしさを表現できるのです。漫然と流され易い中で工夫をし、アイデアを出しながら、私達の個性に磨きをかけていきましょう。

【 クラブ統計 Statistics 】

2006年3月		種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員	16名	メン	10名	8名	3月:切手 70 gr.	3月:21,800円
		ネット	4名	名	現金 円	(05年7月~06年3月の)
例会出席	12名	ピジター	名	名	(05年7月~05年3月の)	累計:135,589円
うちメアップ	1名	ゲスト	1名	名	累計:切手 1,830 gr.	[除く、クリスマス献金
出席率	75.0%	合計	15名	8名	現金 4,000 円	オークション、記念献金]

今月の聖句に寄せて

聖句選・コメント： 中村 茂高

4月16日は、復活祭（イースター）の日です。1面の聖句は、十字架にかけられ亡くなったイエスが、その3日後に復活し、喜びに打ち沈む11人の弟子の前に現れ言われた言葉です。

マルコによる福音書は、4つの福音書の中でももっとも古く、イエスが磔にされた当時、マルコはまだあどけない少年だったと言われています。そのマルコは、2～30年後の早期には、イエスの生涯の骨子の部分を書くことになります。

その中で、マグダラのマリアと2人の女たちがイエスの墓で出会った人物を、マタイ、ルカ、ヨハネの福音書では、「天使」としているにもかかわらず、マルコは「白い衣をまとった青年」とその書に記しています。また、マルコだけがゲッセマネの園で、麻布を捨てて裸で逃げた若者のことを記述しています。

その人物がマルコ自身だと推察すると、そこには、最後の晩餐で食事を運ぶ手伝いをし、追っ手のことをイエスに知らせようとゲッセマネに走り、イエスの墓に一足先に訪れて後から来たマグダラのマリアに「こわがらないで、イエス様を探し来たのでしょうか。でもここにはもうイエス様はいないよ。ベトロたちに伝えて、イエス様はよみがえったんだって。前にもイエス様が言っていたように、ガリラヤに向かわれたんだ」と叫んだ、機敏で、純粋な魂をもつ子どもものの姿が浮かび上がります。

「聖書知らずの聖書読み」。私はキリスト者ではありませんが、しかしイエスの教えに深く魅かれる者です。あるメンから、肉親の縁が少なかった妻がそれまでいろんな宗教にかかわっていたのに、死の間際になって「私の探し求めていたものが見つかった」と言いクリスチャンになった、という話を聞き、とても感銘を受けました。私自身、同じような経験があるからです。

私の場合は、父が気象台の測候所に勤める関係で、小さいときから転校を余儀なくされ、周囲から孤立し自分を見失うような体験から、何か精神的な支柱を求めていたのかも知れません。仏教関係や精神世界に関する書物をよく読みました。そんな時、出張中にたまたま手にした三浦綾子の「聖書入門」が、初めて私とキリスト教との出会いでした。30歳の頃でした。そして私もまた自分の「探し求めていたもの」がこれだということに気づいたのです。

3月BFニュース

【 Report of the Brotherhood Fund in March 】

山田 孝彦（書記）

- ◇ 切手提供者：山田、三浦君、隅田メネット 計70gr
- ◇ 今月の殊勲賞：山田君 50gr

3月第1例会

【 Report of the March February Club Meeting】

（06年3月15日（水）18:30～20:30

リーガグランドホテル・5階 桂の間）

松浦 孝次

○早春、余寒の一夕、クラブメンバー14人が出席して、福永武彦メンの司会で開会。福永滋子メネットによる聖句朗読があり、今月のテーマ【EF/JWF】について山田孝彦メンが説明しました。

○梁 麗一さん（大阪YMCA国際専門学校／表現・コミ学科非常勤講師）によるスピーチは「ちがいを豊かさ」に。梁さんは、1967年大阪生まれの在日三世で教育者。これまで2,000人の若い人たちの個別相談にのっておられ、05年から、不登校の生徒たちへの支援として「表現・コミ学科」に関わっておられます。

氏の熱情あふれるスピーチを聞き、ワークショップ（全員が“じゃんけん”）を行いました。「ひとりひとりの個性が尊重され、共に生きる社会を創造する」を目標に、社会は差別を排すること、また個人は一人で問題をかかえこまないで、仲間とつながり進路を切り開いていくこと。

「人権とは、安心・自信・自由がキーワード」。自分は、その三点についてどうなのか 自身に問いただすことだ、と学びました。時間が足りなく感じた、大変考えさせられる内容でした。

○鍛冶田千文さんから、土佐堀YMCAクリスマス献金が254万円に達したとの報告と感謝、また4月1日大阪YMCAで保育園が開設されるとの紹介がありました。

○山田孝彦メンから、氏が長い時間をかけて苦勞して整理した「使用済み切手」15kg（9,000円相当）を、BFとして当クラブから、ワイス本部へ拠出したことが報告されました。山田さん、ありがとうございます。



（3月例会、熱く語るゲストスピーカーの梁麗一さん）

3月第2例会

【 Report of the March Club Meeting 】

(3月22日(水) 18:30~20:30 大阪YMCA)

出席:石津、鍛冶田、坂本、中村茂、藤原、松浦、三浦、山田君 8名

1. 4月以降の例会プログラム

4月は、1面のとおり。5月は、デファレンスデイとして20日(土)に、重信直人氏(大阪YMCAスタッフ)による「いきいきシニアの健康ライフ」。チラシを作り、各方面に配布し、いろいろな方々に来てもらう。6月・7月は、既報。

8月は新機軸で、19日(土)に京都キャピタルクラブとの納涼合同例会を、京都でもつ。場所、会費など、これから協議する。

2. 坂本哲朗 次期クラブ会長の構想

3月18・19日の会長研修会(六甲Y)の紹介があった。次期会長の方針として、「楽しくなければ、センテニアルじゃない!!」クラブ例会の活性化と各メンバーが、タレントを発揮し、各自が各メンバーをサポートする」を打ち出したい。詳しくは追って。

3. その他

(1) 来年度の西日本区大会は大阪で開催される。6月9日~10日。中西部全クラブが中心になって取り組むことが要請されている。わがクラブも協力をしよう。

(2) DBCの交流会、夏に東京YMCA妙高高原ロッジを候補に、東京セントラルクラブさんと相談中。

(3) EMCに関して、ボヘニアクラブの事例紹介(会長が5人を獲得)が、藤原メンからあった。

お知らせ

1. 第10回西日本区大会 6月10日~11日
名古屋国際会議場・白鳥センチュリーホテル
2. ワイズ国際大会 8月3日~6日 韓国・プサン
3. 中西部会 9月30日 土佐堀YMCA館

≡≡ Club Activities (March 2006) ≡≡

On March 15th, the club's March meeting was held at the Rihga Grand Hotel, Osaka, with a total of 15 Y's men, Y's menettes and a guest in attendance.

With its emphasis on Endowment Fund and Japan West Fund, Y's man TAKAHIKO YAMADA outlined the meaning and purpose of the programs.

The highlight of the March meeting was the speech made by Mr. Yang Yangil, lecturer at the Human Communication Course of the Osaka YMCA International College.

Showing variety of familiar examples, he made an enthusiastic speech on the necessity of creating the society where people can live peacefully without fear or prejudice.

Ms CHIFUMI KAJITA, our liason officer with the Osaka YMCA, reported that the final goal of the 2006 X'mas donation had been achieved and that the long awaited Osaka YMCA kindergarten will be open on April 1st, 2007.

YMCA ニュース

大阪YMCA国際専門学校 鍛冶田 千文

別離の3月から、出会いの4月。YMCAにも多くの新しい人々が集います。わくわく期待とときどき不安。誰もが来年の3月満ち足りた気持ちになりますように、神様に祈りする日が増える春です。

■ 早天祈禱会

日時:4月21日(金) 7:30 ~ 8:30
奨励:小豆真人氏(東梅田教会牧師)
場所:大阪YMCA土佐堀館 10階

■ らくらく車椅子登山

車椅子で登山をしよう!参加者・ボランティア募集
日時:4月23日(日) 9:30-15:00
場所:生駒らくらく登山道 費用:無料
問合せ:大阪東YMCA06(6787)3232

■ マントルピースを囲む会

六甲山で美味しい山の上の料理と暖炉を囲みながら、ゲストの方のお話を聞きます。

日時:4月21日(金) 19:00 ~ 21:00
場所:六甲山YMCA
講師:酒井哲雄氏(順栄保育学院院長・元大阪YMCA副総主事)

香港ボヘニアクラブとの交流会に出席して

藤原 正巳

今般、小生が初代社長を勤めた会社の創立15周年記念のイベントに出席のため香港に参りましたが、イベント終了後、YMCA アジア太平洋同盟年次会議に直前プレジデントとして出席された谷川寛メンと合流し、香港ボヘニアクラブの皆さんと交流の機会を持ちました。

土曜日がまだ休みではない会社も多く、忙しい土曜日のランタイムでしたが、ヴァージニア会長はじめ長者のエレノア・チャンさんなど、計6名の会員が出席され、中華料理を食べながら楽しい団欒のひとときを過ごしました。話題は会員の増徴やハワイでの3クラブ合同のトライアングルなど多岐に及びましたが、特に同クラブはヴァージニア会長のご努力で会員が多数増加したことは大きな驚きでした。

来年トライアングルが実現したら、会員増強が進む海外IBCの2クラブから大きな学びが得られるとの思いを強くしたひとときでした。

(そのときの模様は、4面の画像をご覧ください)

THE OSAKA CENTENNIAL



ニコニコ・メッセージ



【 Messages from the Club Members 】

“ごはだ”メッセージ

○例会の当日はあいにく採用試験があり、出席できません。皆様によりしくお伝えください。
(新保 正秋)

会員からのメッセージ

- 梁先生の「ちがいを豊かさ」のスピーチで楽しく学ぶことができました。これからはYMCAの活動を通して学んで行きたいと思えます。
(石津 雅人)
- 「5年間長かったです」中学不登校3年、引きこもり2年、これから表コミに入学が決まって新入生の保護者の言葉。どうぞYMCAで新しい自分が発見できますように。
(観台田 千文)
- 梁先生のパフォーマンスを含めたスピーチに引き込まれました。私は「ありのままに自分らしく生きること」をできているのか？「自分自身は自由な発想を持っているのか？」自己をふりかえるよい機会でした。
(坂本 千香)
- 3月18,19日、六甲YMCAへ会長研修会に参加します。来期は、少しでもドラえもんのようなクラブになればよいと思います。
(坂本 哲朗)
- 梁先生に楽しくやさしくお話しいただきありがとうございました。ありのままに自分らしく生きていける事の大切さを思いました。
(隅田 恵子)
- 梁先生の授業ますばらしい切り口でした。生徒さん達もお幸せですね。貴重なスピーチでした。
(中村 幸枝)
- 「ソーシャル・インクルージョン」(社会的包摂)の言葉を初めて知りました。「安心」「自信」「自由」今後の生き方の指針になります。梁さんありがとうございました。
(中村 茂高)
- 畠中さんの「余暇時代を生き抜くために」の余暇適合の大きさと、それが故にその備えとしての心構えの指導が説得力があった。
(永島 駿)
- 今日の梁氏の「ちがいを豊かさ」のお話、とても良い勉強になりました。個性豊かに共に生きる社会となりますように！
(福永 滋子)
- 梁先生の活気溢れる、人間の本性に基き社会改革面を鋭く説かれた有意義な卓話に感謝します。大いに考えさせられました。
(福永 嘉彦)
- 梁さんのスピーチから、「共に生きる社会」の実現に少しでも寄与できればと思いますが、YMCAの活動にかかわることはそのための大きな手がかりになることだと実感しました。
(松浦 孝次)
- 今までの人権の講義とは全く違った観点のお話で思いを新たにしました。本当の人間としての自由とは何かを考えさせられました。
(三浦 直之)
- 2月27日(月)藤原、山田の2人が京都に出かけて黒田さんとお会いしました。「宝ヶ池のゆば泉」でお昼を食べながら楽しい語り合いのときを持ちました。これからの生き方についてワイズの未来について、時の経つのも忘れて交流の時でした。黒田さんから皆さんによりしくと多額のニコニコ献金を頂きました。
(山田 孝彦)

CS寄金 ご報告

中村 茂高 CS委員長

みなさまのご協力により、現金 15,000円および切手 21,000円相当が集まりました。ありがとうございました。

(右上: リーダー感謝会、若い人たちのエネルギーがほとばしりました!
右下: 香港ボヒニアクラブの皆さんとの交流。3面の記事参照)

大阪土佐堀YMCAリーダー感謝会



3月21日(祝)の午後、大阪YMCA館で、土佐堀YMCAで数年にわたり活躍してくれたリーダー(指導者)たちを、感謝して歓送するひとときをもちました。リーダーのOB、OGたち、ワイズメンバー、YMCAのスタッフなど、総勢約50人が集まりました。土佐堀YMCA(運営委員会)の主催。

リーダーとは、主に大学生。子供たちに寄り添い、実技を教え、キャンプなどを共にする、ボランティアシップに富む若い人たちです。卒業して社会人になるので「卒業」です。「かけがえのない体験をした、たくさんの人たちに出会えた・・・」との感想が発表されました。これからのYMCAを担う人たちです。“You must come back again (YMCA)”と激励しました。

(松浦孝次 記)



《 編集後記 》

いよいよ、ほんものの春です。新しい活動に着手するにふさわしい時です。次期クラブ会長 坂本哲朗メンも7月以降に備えて、新機軸を計画しています。

1面のクラブ統計で 第1例会の出席者数に誤りがありました。(2月号では)1月はビジター3人を加えて 計21人、(3月号では)2月はゲスト1人、ビジター1人を加えて 計19人の出席でした。ミスをお詫びします。(松浦 孝次)